

自然災害と図書館の安全性(大地震の被害と教訓を中心に)

川島 宏(株式会社栗原研究室)

1. 地震による図書館の被害状況
 - (1) 東日本大震災(2011年)による公共図書館の被害と復興状況
 - ① 図書(資料)の落下
 - ② 書架の転倒・破損
 - ③ 設備破損による水損
 - ④ 非構造体の破損・落下
 - ⑤ 構造体の破損
 - ⑥ 津波による被害
 - ⑦ 人身被害
 - ⑧ 原発事故による被害
 - (2) 熊本地震による図書館の被害
 2. 洪水による図書館被害
 3. 安全な図書館であるために:施設安全のためのチェックシート
 - (1) 立地の安全性を確認
 - ① 過去の災害の記録
 - ② 土地の歴史を伝える資料
 - ③ 震度予測や活断層の資料(&洪水ハザードマップ)
 - (2) 建物の安全性を確認
 - ① 構造形式
 - ② 建設年を調べる
 - ③ 耐震改修の促進
 - (3) 建物の周辺の安全性
 - ① 危険な箇所がないか
 - ② 最寄の避難場所
 - (4) 家具類の安全性
 - ① 家具の固定
 - ② 堅牢な家具か
 - ③ 事務室内の什器備品
 - (5) 落下すると危険なもの
 - ① 高所のガラス
 - ② 照明器具や空調吹出口等
 - ③ 高所に置かれた物や吊られた物
 - ④ 配管破損による水損
- (6) 非常時への備え
 - ① 防火戸の作動
 - ② 避難路の安全確保
 - ③ 非常時への備え(訓練・備品)
- (7) 図書の落下について
 - ① 斜めの書架
 - ② 滑り止め・落下防止装置
 - ③ 免震書架・免震構造
- 参考文献
- 日本図書館協会(2012)『(テキスト)第33回図書館建築研修会 東日本大震災に学ぶ』
- 日本図書館協会施設委員会(2012)「東日本大震災現地調査報告—公共図書館の被害」、『図書館年鑑2012』p305-313.
- 川島宏(2012)「図書館の防災対策」、『LISN(リスン)』7月号(小特集:震災に学ぶ),キハラp1-4.
- 日本図書館協会(2012)『みんなで考える図書館の地震対策—減災へつなぐ』p18-19.
- 川島宏(2013)「大熊町図書館の調査報告—原発4キロ圏の図書館—」、『図書館雑誌』9月号,p592-593.
- 川島宏(2016)「施設委員会による最近の被災地復興状況調査」、『図書館雑誌3』p155-157
- 間中辰弥(2016)「常総市立図書館の浸水被害と復旧への取り組み」、『図書館雑誌』3月号,p158-159.
- 川島宏(2016)「平成28年熊本地震による図書館の被害状況調査報告」、『建築防災』11月号,p27-30
- 川島宏(2017)「震災に備えるための建築的な配慮」、『短大図書館研究』36,p127-132